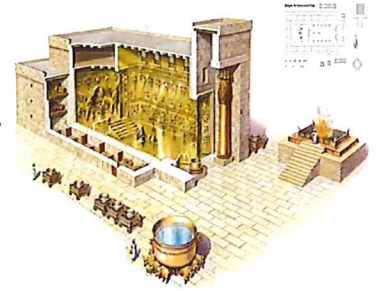


かみ くに げんり い  
神の国の原理を生きる  
す いえ ひろま  
-住む家はその広間のうしろに-



じぶん きゆうでん た  
<序>自分の宮殿を建て 1v

かみ くにけんせつ  
I. 神の国建設のために

せいどう にほん はしら  
1. 青銅で二本の柱を 15v

いもの うみ つく  
2. 鋳物の海を作った 23v

せいどう じゅっこ だい  
3. 青銅で十個の台を 27v

しんこうせいかつ にちじょう  
II. 信仰生活は日常に

せいどう じゅっこ せんばん  
1. 青銅で十個の洗盤を 38v

はいつぽ じゅうのう ばち  
2. 灰壺と十能と鉢を 40v

しゅ みや ほうもつぐら  
3. 主の宮の宝物蔵に 51v

御国がこの地に来る！ 神の働きに仕えて行こう！！

彼の住む家はその広間のうしろの庭にあり、同じ造りであった。ソロモンは、彼が妻としたファラオの娘のためにも、この広間と同じような家を建てた。(I 列王 7:8)

分かち合いのための質問

1. コロナウィルス感染世界蔓延のこの時に、何が変わりましたか。どんなことを教えられていますか。
2. 神殿建設の事業の記録を通して、見える事から信仰についてどん事をあなたは教えられていますか。
3. あなたは神の国に招かれました。ならば今、それにふさわしく信仰をどのようにして行きますか。